

スローセックスを体験した女性のレポート

— スローセックスモニターレポート —

★アダム徳永とスローセックスを体験した女性のレポートです。

※現在はモニターを募集していません。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

●モニターレポート1

岡島佑子さん（仮名）32歳

勇気を出して応募して本当によかったです。モニターに応募した動機はいろいろありますが、1番は「アダム徳永のセックスはどれだけ気持ち良いのか、一度経験してみたい！！」と思った事です。いつだったかTVで「アダムタッチ」を紹介していました。それで興味を持ち、アダム先生のHPや本を拝見して、私もこんなセックスをしてみたい！と思ったのです。私が今、お付き合いしている彼も素晴らしくて、セックスも紳士で優しくて思いやりがあって、肌が合うという言葉がピッタリの最高の相性です。前戯にも挿入にも時間をたっぷりかけて愛してくれます。でも、一点だけ、クリトリスへの愛撫の時に何故か逃げ出したくなるのです。これがどうしてかを知りたいというのが二つ目の動機です。

私はこれまで何人かの方とお付き合いをしました。でも、思い返すと、私が経験してきたセックスは、男性の為のセックスでしかなかったように思います。唇を食べられるかのような、ガバツとした乱暴なキス。胸を触って、局部への愛撫。少し濡れてきたら挿入。激しいピストン運動。あっという間の射精。『イク』とか『おかしくなる』とか『セックスに没頭する』とか、よく女性誌で読むような経験はありませんでした。少し感じてきて気持ちいいな…って思い始めたらだいたい終わりです。「もう少し触って欲しい」とかとても言えませんでした。いつも何となく不完全燃焼。でも、そんなセックスしか知らなかった私は、そういうものなんだと本気で思っていました。

セックスへのそういう思いが、どれだけの問題かも分からないまま結婚して出産。これまでと環境が変わり、お互いの生活と気持ちがすれ違い、いざ、仲良くしたいと思っても「疲れている。しんどい。」と拒否され、それでもくじけずに誘うと、「もう、いい加減にしろ！！」と完全拒否。このまま終わるのは女として悲しすぎる。そう思い、勇

気を出してセックスや他の不満について話し合いを試みるもダンナは逆切れ……。それでも、一度だけ良い雰囲気になった事がありました。でも……。リビングのフローリングの上で抱き着かれ、テレビはスポーツニュース。電気は煌々と着いていて、貪りつくように乱暴に胸もわし掴み。彼なりに一生懸命に愛撫しているつもりだったのでしょうが、私は雰囲気のなさに現実から離れられず、スポーツニュースが目に入り、愛撫してもらっていても気持ちも体も冷めていました。いざ、挿入しようとしても、まったく私のカラダは受け入れる準備など出来ているはずもなく……。痛くてまったく入りません。彼は「なんやねん！！もういいわ！」と怒鳴りだし、「ごめんね。もう一回……」と懇願しても、「もう嫌や！」。これが彼との最後のセックスになりました。そして、私は心も体も閉ざしてしまいました。そして離婚。最悪です。大好きだったはずなのに、愛して欲しかったはずなのに。

初めてお会いする先生は、とても優しくて穏やかな笑顔で迎えてくださいました。本やHPで見ていた先生、本物でした（笑）。話をするのが苦手な私に微笑んで、ゆっくりと話してくださって、話を聞いてくださって、とても話しやすかったです。受け止めてくれる。そんな安心感がありましたので、恥ずかしい事も話そうと思えました。元ダンナの話を話すと先生は、「男性を代表して謝ります」とおっしゃって、こっちがびっくりしました。先生の本当の気持ちなんですね。

そして、いよいよホテルに移動です。歩いている時もタクシーの中でも、ずっと話しかけて下さって、気遣いが嬉しかったです。タクシーを降りてからは「僕を恋人だと思って下さいね」と、腰に手を回してさりげなくエスコート。その手も、ずっと優しく私の体を触っていて、ドキドキして不安もあったけれど、何だか少し落ち着いたように思えます。お部屋に入ると、まだ緊張している私に飲み物を用意して下さい、お風呂の準備に。「先に入るので、3分したら入って来て下さい」と言われ、更にドキドキ！！この日を待ち侘びていたのに、どうしよう、どうしようって迷いました。でも、先生の優しさに全てお任せしようと思い、お風呂に……。すると、バスタブで微笑む先生が「おいで」と手を広げてくれました。バスタブに入ると「恥ずかしいでしょ？ 後ろ向いてごらん」って。後ろからふわあって包まれて、優しく触れて下さって、少しずつ先生に体を預けていきました。腰や首を撫でて、指は胸に……。触れられると、体が反応します。ゆったりとした、ふわふわした感覚です。先生の指がそおと私の下半身に。触れると、あぁって。「もう濡れているよ」。恥ずかしいけど、心地よくて、先生の下半身も大きくなっていて、またドキドキして、何だか嬉しかったです。

向かい合って、胸への愛撫。もうすでに体は敏感に。キスも本当に優しいキスでした。大切にしてくださって、もう、ドキドキよりも安心感の方が大きかったです。すると先生は「先に行ってますね」ってお風呂から出られました。もう少しこうしていたかったな……。

お部屋に戻ると、先生は全裸でベッドにいました。ちょっと照れました（笑）。先生の横に座るとガウンを脱がせて下さって、うつぶせに。ベビーパウダーをかけてもらうと、懐かしい香りにリラックス。そしていよいよアダムのタッチ。体がどンドンリラックスしていきます。ベッドに沈んでいくような、どこかスイッチが入ったように感覚が変わっていききました。脚、おしり、腰、背中と触れられてうっとりしていたら、「美味しそうなおしり」と言って、急にかじられてびっくり！ 首もガブっ。背中をギュっってひっかかれ……、ゾクゾクして声を出している自分にもびっくりしました。先生に「Mだね」って。おしりから、つーつと指でそっとなぞられて、そのままアナルへの愛撫。アナルへの愛撫はもともと好きでしたが、これまでの人とまったく違う、先生の舌での繊細な愛撫はとてもステキでした。もう私の中はとろとろに、自分でも濡れているのがわかりました。膣に指が入ってきそうで入ってこないのが、じらされて……。

仰向けになって、今度は腕への愛撫。私、そこ駄目なんですよね。声が押さえられません。腕から胸に。もう、私は全て、さらけ出していました。先生の愛撫は刺激に強弱があって、とても優しいのに急に力強くなったり、私の反応を見て、指を絡ませて繋いでる手をぎゅっ握って下さって、安心感と身を委ねていられる感覚とがありました。

そして、クリトリスへ。私はいつも、あるところまでは気持ち良さでいっぱいなのですが、そこを越えるとなにかを我慢出来なくなって、辛くなって、「ダメーっ」って止めて逃げ出したくなるのです。だけど、アダム先生の指は私を快感の波に包んでくれました。どこまでも気持ち良くて、苦しさなんて全くなって、ただ快感に没頭していききました。そして、生まれて初めての体験……。どこまでものぼって行くような不思議な感覚で、脚の指先からかかとへとジンジン痺れてきて、体も熱～くなってきました。もっとして欲しい。もっと深く感じたいと思いました。

余韻に浸っていると、そのままクニへ。エッ？ 今、クニされてるの？？ って思うくらい優しく、ピンポイントに、それでいて、とても気持ちの良いすごく繊細な刺激です。どうやって、してくださっているのか分からない刺激でした。そして、先生の指が少しずつ、私の中に入ってきました。ああ…。感覚が先生の指に全て集中していて、「これがGスポット」。体の奥から快感の波が…すごいです。「そしてこれがTスポット」。??? 最初はわからず、こんな感じ？ と、初めての感覚に戸惑いましたが、慣れてくるとGスポットよりももっと奥が揺れて、自分がどうにかなくなってしまふほど止まらない感覚が押し寄せてきました。「イヤーっ」って勝手に声が出てしまいました。すると先生が止めて、「本当にイヤなの？」って意地悪な質問。首を振るとまた快感。もうそこにしか、意識がなくてどんな風にされて、自分がどうなっていたのかもわかりませんが、すごい！！の一言です。そしてまたクニ。え？また？？ とても気持ちよ

かったし、もう一度なんて、すごく嬉しかったです。

その後、いよいよ挿入。もう私の体は十分過ぎる程、準備が出来ていました。私は入ってくる瞬間がとて好きです。お互いを確認するというか、体も頭もうっとりする瞬間です。対面上体立位での刺激の後は座位です。先生に突き上げられるのはもちろん、気持ち良かったです。が、前後の刺激の方が好きでした。私の中のいろいろな箇所に先生のもので当たって、刺激をしてくれます。そのまま騎乗位。実は最近すごく好きになった体位で、やっと自分で、好きな快感を求めて動けるようになったので楽しみにしていました。上下の動きよりも前後の動きが私の中と、クリトリスを刺激してまた違う快感です。この後は、自分でもモニター失格だと思いますし、本当に申し訳ないのですが、感じる事に没頭していて、どんな体位でどんな感じだったかをはっきりと覚えていないのです。ただ、正常位で脚を伸ばして開いた体位と、脚を曲げてクロスした体位は初めてで、恥ずかしい気持ちと、初めての刺激で良かったと言う事だけは覚えています。あまりに快感に没頭したので、深くて爽快な疲れで先生の腕に抱かれて眠りました。とっても深い眠りでした。私はいつもこの眠りがとっても気持ち良くて、体がリラックスします。

どのくらい眠ったか、目が覚めました。先生も目を覚まして、また私の胸を触ったりしてくれました。まだ体は反応します。先生の指が…また私の中に…何の抵抗もなく、入ってきました。ああ…「まだこんなに…すごいね。エンドレスでしょう？ 本来女性はエンドレスなんですよ」って。きっと、先生はこれを知って欲しかったのではないのでしょうか。イクとかイカないとかではなく、本当にお互いを思いやり、一緒に感じるセックスを。大好きな彼や旦那様とのセックスが、こんなにも愛のある行為なら、こんなセックスと一緒に求めていける関係なら、私は喧嘩しても、何があっても、ずっとお互いを大切に思っていけるのではないかなって思います。世の中の男性が、スローセックスを当たり前のように身につけてくれたら、女性はみんな幸せなのに……、と心から思いました。

その後、今のカレとのSEXは毎回毎回良くて、どんどん良くなっています。アダルトタッチを知っているかどうかは分からないのですが、似た事を以前からしてくれています。逢った瞬間から、手を繋ぐ時の指の絡ませ方から始まり、ずっと前戯のようなのです。なので、ホテルに入る時には、私の体は足の指から頭の先まで全身が性感帯になっています。「ええ？こんな所も感じるんだ？」って毎回発見があって楽しい、と彼は言います。先生の本に書かれてある事って、本当なんだなーって身をもって知る事が出来ました。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

●モニターレポート2

矢代景子さん（仮名）37歳

アダム先生と会うお約束をしてから実際にお会いするまで、緊張と少しの罪悪感を感じて過ごしました。いくらモニターとはいえ、初めて会う、お付き合いするわけでもない男性と最後までいくのですから、モラルの点から言ったら正直NGです。それでも私がモニターに応募したのは、先生のHPを拝見して先生の提唱するスローセックスにとっても憧れたからです。この年齢にいたるまで、それなりに恋愛をして男性経験をして、それなりに感じる体だと思っていました。でも、先生によるスローセックスを体験した女性たちのレポートを拝見して、私はまだ本当の喜びを知らないんだなと思いました。感じるといっても、常にイクわけではなく、そんな時は相手の男性に悪いと思って、途中でイクふりをしたりしていました。HPで見たスローセックスはそんな事は必要なく、イク必要すらないなんて。私もセックスにおいてはイクことより、相手の男性と触れ合っていることの方を大切に思っていたので、まさに同感と感激しました。なので、モニター応募をされていることをHPで知って、応募したのです。先生から直接メールをいただき、お会いできることになりました。

約束の当日、緊張は最高潮です。女性スタッフの方に迎えられて、オフィスのお部屋でお待ちしていると、先生がいらっしゃいました。雑誌などで顔は存じていましたが、写真よりさらにお優しい印象でした。満面の笑みで出てきてくださったからかもしれません。そして、とても背が高く、姿勢が良くて立ち姿がステキでした。まずはカウンセリング。過去の男性との経験などを先生に聞かれるままにお答えしました。結構事細かにお話ししたので、緊張と恥ずかしいのとおたおたになってしまって、先生まで笑ってらっしゃったのを覚えています。30分ほどでカウンセリングを終えて、タクシーで渋谷に移動しました。タクシーの中では趣味の話などしていただいて、少しずつ緊張はほぐれていきました。

ホテルに着くと、先生はまずお風呂にお湯を入れて、お湯がたまる間、バスタオルを用意して下さったり、歯ブラシとコップをセッティングして下さったり、コーヒーを用意して下さったり、とてもお優しいんです。お風呂の準備ができると「5分後に入ってきてくださいね」と言ってお風呂へ。5分後にお風呂に入ると、先生はバスタブでお湯につかってすっかりリラックス。私また緊張してきてしまって、体を隠すようにシャワーを浴びて、恐る恐るバスタブへ……。どういう風に入ったらいいかわからずに聞

いたら、自分の脚の間に後ろ向きに入るように言われ、その通りに体をお湯に沈めると、先生が後ろから抱きしめるように体を優しく撫でてくれて……。これがあの「アダムタッチ」なんだと思いました。本にも書かれているように、触れるか触れないかのところで優しく円を描くように先生の指や、手のひらが私の肩から腕、わき腹や腰、太ももから脚を撫で回してくれます。同時に耳や首筋にも先生の柔らかい唇が……。お湯の温かさと先生の柔らかな指と唇で緊張していた体からはすっかり力が抜けてしまいました。そして、先生のアダムタッチに私の体はとても感じてピクピクして、先生の指が私の乳首に触れると、こらえきれずに甘い声を上げてしまいました。優しく撫でられているだけなのに、体がとろけるように感じてしまいポーっとしていると、先生の指はいつのまにか私のクリトリスに触れていて……。また甘い声をあげてしまうと、先生に「あれ、もう濡れてるね」と言われてしまいました。促されるままに、先生の方に向くと、優しくキスをしてくださいました。本当に優しい、力の入っていない柔らかいキス。さっきまで緊張していたのがうそのように、心も体ももうとろけていました。先生のペニスはその時もう硬くなっていて、またがるように抱きついてキスをしているとそのまま入ってしまいそうでした。

体を洗ってお風呂から出ると、先生は既にベッドで私を待っていてくれました。腕枕をするように私を迎えてくれると、先生のアダムタッチは私の髪、顔、肩、腕、背中を優しくゆっくりと撫で回します。おでこや頬、耳、唇に柔らかいキスを続けながら、私は本当の恋人に甘えるように心も体もリラックスして、先生の指から感じる官能に身を任せていました。先生は時々アダムタッチに、ネイルタッチやスクラッチというちょっと刺激の強いタッチも入れたりします。それがうっとりしている時に的確な場所（太ももなど）に少し入るので、それに刺激されてまた深い官能に入っていくのです。先生に抱きかかえられるようにされると、先生の指は背中とお尻をアダムタッチで愛撫してくれました。そしてうつぶせにされ、先生はベビーパウダーを私の脚から背中にふりかけて、つま先からふくらはぎ、背中へとまたアダムタッチの愛撫が続きます。先生の優しい指使いと、ベビーパウダーの甘い香りとの、さらにリラックスです。とろとろで宙を舞うような官能に浸っていると、先生の柔らかい舌が私のアナルを愛撫しはじめました。あまりされたことがなかったので、恥ずかしさに顔を枕にうずめていると、ぞくぞくとした感触が体に広がっていきました。でも恥ずかしさのほうが勝ってしまって、まだそれを気持ちいいと感じるまでには私の体は成熟していなかったみたいです……。

仰向けにされると、またベビーパウダーを体にふりかけ、先生の指は私のお腹から乳房へ。私の乳首はもう恥ずかしいほどに敏感に尖ってしまっていて、先生の指が乳首をさすったり、指先でくすぐるようにしたり……。すごく気持ちよくて、乳首から体全体に快感が広がっていくようでした。先生の指使いはとてもいやらしくて、恥ずかしいけれど見入っちゃいました。

先生の指がクリトリスに触れる頃にはもうすっかりそこは濡れてしまっていました。先生のクリトリスへのタッチはほんとうに柔らかくて優しくかったです。今までの男性からは強く擦られることが多く、それでも感じる場所でしたが、あんなふうに小刻みに優しく柔らかく愛撫されるとまったく快感の質が違います。今までの男性の指使いがどれだけ力が入りすぎで、荒々しいものだったかがわかりました。先生に優しく、柔らかく、そしてじっくりと愛撫されると気持ちよさがゆっくりと、深く深くなるようで、どこまで気持ちよくなるのか天井が見えない感じです。そして先生の指が中に入ってきます…

…。

ゆっくりと中を確認するように動いてそれだけでも気持ちがいいのに、先生はすぐに「ここがGスポット」とそのポイントを的確に刺激してきます。うっかりしたらおしっこか潮だかが出てきてしまいそうなものすごい快感でした。その後先生は「これがTスポット、で、またここがG」と声をかけながら愛撫を続け、私は大きな声を出しながら、感じまくっていました。GとTはまったく違う感覚でした。Gはクリトリスに近いすごく気持ちいいポイント、Tはもっと深くてアナルの方に響くような感覚。私は個人的にはG派でした。

先生は、私の下半身を押さえ込むように脚の間に顔うずめてクンニをしてくれました。指の時と同じ、柔らかくて優しく小刻みな先生の舌での愛撫。あんなに気持ちよかったクンニは今までにありません。クンニされる時は、膝を立てさせられる姿勢が多かったのですが、先生は私の脚を伸ばした状態で広げさせ、太ももを押さえるような姿勢でしてくれます。私はイク時、両脚が突っ張ってしまうので、その姿勢=私のイキやすい姿勢だったんです。先生の柔らかい舌での優しくエンドレスに続くようなクリトリスへの愛撫で、私は大きな声を出して何度もイッてしまいました。先生にも「何度もイケるいい体質だねえ〜」と言われ、嬉しいやらはかずかしやら（照）。

先生の肩にもたれて、クンニにへろへろになっていると、先生の手で導かれて私の手が先生のペニスに触れました。先生のまねをして優しく指先で撫でていただけですぐにまた硬くなって……、もっと気持ちよくなって欲しくなって、先生の乳首を舌で愛撫しながら指でペニスを撫で続けました。先生は感じるポイントに私の舌や指が触れると気持ち良さそうに声を出して、体を大きくびくっと反応させてくれるので、すごく嬉しかったです。お口でも先生のペニスを愛撫して、舌で亀頭を嘗め回したり、全体を口に含んで唇で擦ったりしました。先生は、私のつたない愛撫にもイチイチ反応してくださって、男性でも女性でも相手が気持ちいいって事を表現すればするほど、嬉しくて、気持ちも高まるんだなと、だから感じるままに体をくねらせて、声を出すことは恥ずかしいけれど大切なんだなあと思いました。

ついに先生とひとつになりました。「痛くない？」と優しく聞いてくれながら、最初は対面上体立位でゆっくりと入ってきてくれました。もうとろとろになっていた私はそれだけで声を上げて感じてしまっていました。先生は私の脚をあちこちに動かして、繋がったままいろいろな体位に変化させます。そのたびに先生のペニスが当たるポイントが変わり、私はもうされるままでした。騎乗位は苦手と言ったら、先生が私の腰を持って「こうするんだよ」と教えてくれました。その通りにするとすごく気持ちよくて、自分で勝手に腰を振って先生のペニスを味わっていました。先生に「できるじゃない」って言われた時は恥ずかしかったです。私が一番好きだった体位は対面座位。先生の首に両腕を巻きつけるようにして抱きついて、先生が私の腰を抱えるように支えてくれて、抱きしめられている安心感なのか、すごく深いところで官能を感じたように思います。一度私から離れると、先生は私を洗面台に手をつけて後ろから入ってきました。そして目の前には鏡が……！先生に「こんな顔して感じてるんだよ、見てごらん」と言われて… 恥ずかしくてあんまり見れなかったけど、チラッと見ると私の顔が真っ赤で、その後ろで先生が私を鏡越しに見てました。その後、私を壁に手をつけて、またバックから。その姿も鏡に映る場所でそのシチュエーションの恥ずかしさと、初めての立ったままのバックがとても気持ちよくて、私は叫ぶように声を上げてしまっていました。先生に「いつもこんな大きな声を出すの？」と聞かれても、首を横に振るのが精一杯でした。

ベッドに倒れこんでしまった私に先生はまたあの柔らかい、優しいクンニ……。そのクンニで何度かまたイッてしまった私は、先生の腕枕で少し眠ってしまいました。先生も少し眠ってました。どちらからともなく目が覚めると、先生の指は私の肩や背中、二の腕を優しくアダムタッチしてくれました。そうなんです、先生の手はいつも私の体のどこかを優しく撫でてくれているんです。この幸福感はなかなかないなあと幸せに浸っていると、先生の指がまた私の乳首に。また感じ始めてしまった私も先生のペニスに手を伸ばして……。そうすると先生は私の手のひらにアダムオイルをくれて、ものすごく滑らかな感触で、先生のペニスをマッサージする私の手の動きもとてもスムーズになって、先生も気持ちいいと言ってくれました。あのオイルがあるとヌルヌルと気持ちいい感触が続いて、マッサージする私の方まで楽しくなりました。先生の手がまた私のクリトリスに伸び、再びあの優しく柔らかい愛撫が始まると、今回は私から先生に「入れてください」とおねだりしてしまいました。「何を…？ 言っごらん」と聞かれ、何度か躊躇しましたが、最後には「先生のおちんちん」と声に出して。先生に言われるまま、先生にまたがってまた騎乗位で繋がりました。さっきよりもずっと感じるようで、自分でいやらしく腰をくねらせしまいました。そして先生に強く抱きしめられるように正常位になり、先生はフィニッシュへ。先生がイク時はとても大きな声が出ます。それだけ気持ちいいと思ってくれるんだなあと朦朧としながらも勝手に自己満足してました。

先生がシャワーを浴びている間も、私はベッドから起き上がれず、余韻に浸ってとろとろしていました。シャワーから出てきた先生は、そんな私をまたアダムタッチで全身撫でながら、「こんなきれいな体して…」と言ってくださいました。ほんとはそんなことないんですけど、優しく体を撫でられながら、そんな風に言ってもらえて、私はほんとうに今までにない幸福感に満たされていました。シャワーを浴びてもまだとろとろピクピクして、なかなか着替えられない私を先生は急かすわけでもなく、ゆっくりと待っていてくれて、一緒にホテルを出ました。

4時ごろホテルに入ったのに、出たのはもう8時近くでした。そんなに長い時間ホテルにいたなんて、自分でもビックリでした。先生とそのあと渋谷で一緒にお食事をしました。先生はお店に行く間も、ずっと私の肩、背中、わき腹、腰をアダムタッチしてくれました。後ろから歩いてくる人に見られてしまう恥ずかしさよりも、なんともいえない安心感が勝って、すごく気持ちよかったです。お店に入るとカウンターの席に並んで座り、そこでもアダムタッチ。「お肌がつるつるだね」と言われながら二の腕を撫でられ、その手の甲の側で乳首を洋服越しに撫でられ、鳥肌を立てて感じてしまい、ご飯を食べてる時も太ももをアダムタッチで撫でられ、その指がショーツ越しにクリトリスに触れることも……。恥ずかしいけれど、すごく感じてしまいました。でも、ちゃんと先生とたくさんお話もしました。先生のスローセックスの詳しいお話や、先生以上に女性にモテモテだった先生のお父様のお話まで。どんな時でも先生は私に触れていてくれて、それがとても私に安心感と幸福感をもたらしてくれました。地下鉄への帰り道はアダムウォークで。私の右手は先生の背中越しに先生の右手と繋がり、先生の左手は私の太ももへ。歩きながらでもスキンシップしてくれるんです。駅のホームで別れる時に、周りに人がいるのも気にせず、私を優しくハグしてキスをしてくださいました。電車に乗って見えなくなるまで先生は笑顔でいてくださいました。

ベッドの上だけでなく、普段の生活でのスキンシップや優しさを感じることでより深く、強くなる。それがスローセックスなんですね、アダム先生。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

●モニターレポート3

西城秀美さん（仮名）24歳

恋愛もセックスも人並みに経験を積んでいるはずなのに、初体験を迎えてから今まで、一度もオーガズムを実感したことがない——。それが、今回モニターに募集した理由

です。

私は、高校三年生の時に付き合っていた男性が極度のSで、痛い痛いと言き叫ぶような激しいピストン・亀甲縛り・ろうそく・ローションを使っていきなりのアナル挿入・連続8回のセックス……等、まだ17歳で心も身体も発展途上な時期に、相当ハードな内容を経験させられました。自分好みのフェラチオをスパルタで指導されたり、男性を気持ちよくさせることが中心のセックスでした。彼のことが好きだったのでSMプレイには耐えていましたが、ついには日常生活でも殴る蹴るのドメスティックバイオレンスに発展し、これでは身体がもたないと、逃げるように別れました。

それからは優しい人とお付き合いすることが多かったのですが、その元彼に叩き込まれたセックスの概念と元々男性に尽くしたい性格なのが災いし、「男性に気持ちよくなって欲しい」という思いから、自分への愛撫にかけられる時間や内容などは遠慮してしまうところがありました。実際、女性がイカないと納得してくれなかったり、自尊心が傷つけられたり、それゆえイカせることだけにとらわれて指で単調にピストンを続ける男性は多いと思います。また、信じられない話かもしれませんが、私はクリトリスで感じるということが分かりませんでした。保健体育の教科書等では見たことのあるので場所は分かっている、鏡で見ても触ってもなんとなく分かりづらく、クンニをされたりマスターベーションをしても「本当にこれ？」という位、気持ち良くないんです。男性から「クリトリスがとても小さい」と言われたこともあり、自分の体の構造上、「イクのは一生ムリかもしれない…」と悩んでいました。そしてたいして気持ちよくないクンニや指の愛撫が苦痛なのと、相手に気分良く挿入して貰うためにほぼ毎回「イッた演技」をしているうち、いつしか「イク」ということがどういうものなのか、まったく分からなくなっていました。ただセックスに対する興味はとて強く、他の部位への愛撫や挿入では感じるの、不感症ではないはず。じゃあなんで？と不安は募るばかり。そんな中、以前から雑誌などでアダムの先生の記事は拝見していて、先生のように女性を気持ちよくさせることに熱心で、時間をかけて丁寧に愛撫して下さる方だったら、私の身体も何か違った反応を示すのではないかと思い、応募にいたりしました。ちなみに、最近まで付き合っていた彼に先生のマニュアルを参考にしてもらおうよう促してみたのですが、何度かマネしてみたもののやっぱりいつものスタイルに持ち込まれ、変わりませんでした。本物を体験して、自分も変わりたいという願いから、先生のオフィスのドアを叩きました。

初めてお会いした先生は、紳士的で優しく想像通りの印象でした。まずは趣味などの他愛も無い話をしたのですが、私がダンスをやっていたこととお話ししたら先生はサルサがお好きだという話に発展し、段々と緊張が解れていきました。先生がとても紳士的なのは、ペアで女性を常にリードすることが必要とされるサルサからもきているのかも、なんて思ったりしました。それから、今まで付き合ってきた経歴全て、これまで

のセックスのことや、クリトリスで感じたことがないという悩みを真剣に聞いてくださった後で(本当にあるのかも分からない位だと言ったらさすがにそれは珍しいねと言われましたが・笑)、場所を移しホテルへ。

お部屋に入ってバスタブにお湯をためている間、先生が率先して飲み物を用意して下さいました。ふと、「一番最近の彼氏と別れた理由は何だったの?」と質問されました。とても好きだったけれど、ある理由から今でも引きずっている相手です。そんな風に、私のセックスの経歴や恋愛の状況など、様々な角度から問題の原因を探そうとしてくださっている姿勢を感じて、とても嬉しかったです。

お湯がたまったので先に先生が入り、「5分後位に入ってきて欲しい」と言われました。後ろから抱きしめられるような形で一緒にバスタブに入ると、まず「可愛いらしい形のおっぱいだね」と褒められてびっくり。それからバストをやさしく包まれてアダムタッチが始まりました。足、首、耳、背中と、たまに舌での愛撫やキスを交えながら全身に超ソフトなタッチが続きました。本当に力が入っていないくて、指先が触れるか触れないかのタッチなのに、強く揉まれるよりもずっと感じました。また、私が冷え性だとお話していたからか、湯船から出ている色々な部位にお湯をかけて暖めてくれたのが印象的です。先生の指がアソコに触れた時には、お湯の中でもう十分に濡れていました。

ベッドに移動し、「うつ伏せになって下さい」と言われたのでそうすると、背面にベビーパウダーを振りながら、今度は「腰からお尻のライン、脚も本当に綺麗」と褒めて下さりました。大きめのお尻や太ももがコンプレックスなのですが、反対に「そこが女性らしくて魅力的!」と力説して下さる先生。「この可愛いヒップ、食べちゃいたいくらい」とまでおっしゃるので笑ってしまいましたが、慈しむように全身をアダムタッチでマッサージしながら本当に軽くかじられて、嫌いだった自分のお尻もなんだか愛しい存在に思えてきました。お尻への愛撫から、アナルへの愛撫に移行しました。前述の通り私にはアナルセックスの経験もあるのですが、ローションを使って無理やり器具やペニスを挿入されるだけだったので、アナルを舐めて貰ったのは初めてでした。アナルと言えどとにかく激痛で、切れて血が出る…という恐ろしいイメージしかなかったのに、舌でちろちろ舐められるだけならこんなに気持ち良いんだ! という新発見です。病み付きになってしまうような感覚だったので気付いたらお尻を突き出していたのか、「丸見えだよ?」と先生に言われて余計に興奮しちゃいました。

そしてついに問題のクリトリスへの愛撫へ。男性からとても小さいと言われたことがあるけれど実際はそんなことはなく、「少し包皮が被さりがちなだけだよ」と聞いて安心しました。それから先生はグイッと皮を上を持ち上げて丹念にクンニをして下さいました。そうしないとクリトリスが完全に露出しないのですから、今まで感じたことが一度も無い訳です。とにかく私の身体にとって初めての感覚だったので、「それ!」と合点がいくような快感が走るという訳ではなかったのですが、先生の舌の動きにとっても敏

感に反応していました。また、こんなにずっと同じ体勢で疲れないかな？　と思う程、とにかく長時間舌での愛撫を続けてくださり、本当に感動しました。クリトリスで気持ち良い感覚が長く続いたので、先生の指が膣に入る時には溢れる位濡れていました。

Gスポット、アダムGスポット、Tスポットの順にポジションを変え説明を受けながら愛撫をして貰いました。3つ共それぞれ感覚が違うのですが、どれも衝撃的な気持ち良さが走り、大きな声を止められませんでした。痛みは全くなく、スポットに指が当たっていると身体が正直にピクピクと仰け反ってしまいます。特にアダムGスポットはそのまま続けられるとおしっこを漏らしてしまいそうな感覚で、「やめて～！　ダメッ、やめないで！　もっと強く！　もっと強く刺激してほしい！」と矛盾した気持ちが入り混じるような快感でした。Tスポットは、ペニスが一番深く入った時に奥の壁に当たる感覚に似ていて、振動がそのまま頭に響くように感じました。愛撫のフルコースを終えた時にはシートがびっしょり濡れていて、こんなに汗をかいたのは間違い無く初めてでした。

ここまで気持ち良くしていただいてようやく、私が先生にお返しをする番です。先生の手つきを思い返ししながら、見様見真似で胸や脚にアダムタッチをしました。時々ビクンッと大きく反応があり、感じて下さっているのが分かりやすかったです。お風呂でのキスの時、舌に何も力を入れないでするキスの気持ち良さを教わったので、乳首を舐める時なるべく舌を柔らかく使うようにしたら、また大きく反応がありました。ふと、世の男性もこれくらい身体に正直で思い切りの良い反応があれば、どこが気持ち良いのかも分かり易くて win-win の効果が生まれるのにな……と思いました。

続けて先生にフェラチオをさせて貰うと、更に大きな振動や声の反応があり、びっくりした様な顔をこちらに向けられました。前述の超SM好きな元彼には辛いセックスを強いられましたが、フェラチオの仕方も徹底的に叩き込まれたので、もしそれが男性に喜んで貰える技術だとしたらそれだけは感謝です（笑）。お世辞だとしても「どこで教わったの？　ちょっとそういうお仕事をしていたのかと驚いちゃった」と言って貰えたのが嬉しくて、余計気持ちよくなって欲しい思いが高まりました。

先生のペニスがより大きく硬くなってからもしばらくフェラチオを続けさせて貰い、もう私が我慢できなくなったところで、いよいよ挿入になりました。身体が男性を受け入れたくてたまらない状態になっていたので、入った瞬間から本当に全身が満たされた気分になりました。十分すぎるほど濡れていたのでスッと入り、膣の中全体で入ってきたペニスを感じられ、そのフィット感が本当に気持ち良かったです。

初めは対面上体立位で、そこから先生が私の両足首を真上に持ち上げる初めての体位で、より深い挿入感を味わいました。そのまま先生の方へ引き寄せられ抱きかかえられるような形で座位に移ったのですが、とても愛情を感じられるポジションで、自分の動

き方で気持ち良いポイントにあたるので、気付いたら積極的に腰を振っていました。そこから騎乗位になると気持ちよさからより激しく腰を動かしたい衝動に襲われ、自分が淫乱になったような気分……（恥）。熱くて硬いペニスが入っている膣の中が感じるのはもちろんなのですが、前かがみ気味に動くと前戯の時に先生が丁寧に刺激して下さったクリトリスがあたっているのか、前の部分もダブルで快感に包まれました。

その後体勢を変えてバックでの挿入に移りました。今まではバックと言えどここぞとばかりにとにかく好き放題奥までガンガン突かれて、激痛に耐えながら自分がおもちゃになったように感じる経験もあったのですが、先生は腰の動きを早めたり遅めたり、浅く入れたり深く入れたりと変化に富んだピストンで、ここでも女性を喜ばせようとする心意気を感じました。自分から上体を落としたり、腰をもっと反らせてお尻を突き出したり、動物的に気持ちよさを貪欲に求めて動けたように思います。バックから二人共後ろに腰を落として背面座位になり、先生が耳を舐めながら胸やクリトリスを後ろから触って貰うと、まだまだ濡れて来るのが分かりました。そこから先生が脚を伸ばして仰向けになり背面騎乗位に。私はこれまでお尻がコンプレックスだったので、相手にお尻を眺められてしまうこの体位はリクエストされても拒否していました。でも、今回はお尻を褒めていただいたことに後押しされ、恥ずかしさもあったけれど楽しめたと思います。膣の前の方の壁とペニスが擦れあう気持ち良さを初めて知ることができました。

ここまでで軽く2時間近く経過していたと思います。感じ続けて少々疲れたので一度ペニスを抜き、心地よい脱力感の中しばらく横になって小休憩のような時間を取らせていただきました。そこからもう一度フェラチオをして、これから二回戦目を楽しむような気分になりました。今度は場所を変え、ベッドから先生に導かれて洗面台の所に行きました。洗面台に手を突いての立ちバック、横を向き壁にもたれての立ちバックで、鏡に自分や先生の感じている顔やピストン運動をする姿が映っていたので、とても興奮してしまいました。また、滑らかな動きで重なり合う男女の画が、なんだか美しく思えました。それから先生は私を洗面台に座らせて挿入し、抱っこをしてくださってベッドに戻り、やっと正常位でフィニッシュに入ります。私も多くの女性がそうであるように、抱きしめられて愛情を感じ、深い挿入も味わえる正常位が一番好きです。一度のセックスでこんなに沢山の体位を経験したので、最後に正常位に到達した喜びもひとしおでした。先生が激しく腰を動かし、大きな雄叫びと共にイッた瞬間、その喜びは最高潮に達しました。一緒に高まって、私の中で気持ちよく果てて貰えたことが本当に幸せでした。私も全身の力が抜けて、すぐに腕枕の中でうとうととしてしまいました。

これだけ長時間セックスを続けていたら、終わった後に立ってられないほど腰がガクガクしたり、アソコが翌日までジンジンと痛むのが日常茶飯事だったのですが、先生のは力任せのピストンではなく、とにかく常に濡れていて気持ち良かったので、帰りに

ホテルから駅まで歩いている間も余裕な自分にびっくりしました。長時間でもこれだけ気持ち良いなら、まだ何回か楽しめそうな気すらします。今回、これはイッたに違い無い！ という瞬間や、いわゆる頭が真っ白に……ということはなかったので、自分にオーガズムが訪れたのかは分からなかったのですが、正直それはどうでも良いことだと思いました。ひとつ確かなことは、最初の愛撫から先生のフィニッシュの瞬間まで、ずっと深い快樂の世界に入っていたということです。そして、長い道のりを経て二人でクライマックスを迎えられた達成感のようなものを味わえたので、セックスって本当に共同作業なんだなぁと感じました。これまで経験したことのない気持ちよさをいくつも知ったので、このまま身体が開拓されていけばいつか“自分のイク感覚”が分かるようになるかもしれません。私の身体では一生無理なのかもしれないと思っていたところから、もっと気持ちよくなれるに違いないとポジティブに気持ちが変わりました。私にとって宝物みたいな思い出です。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

●モニターレポート4

小谷あやのさん（仮名）45歳

私がアダム徳永先生の存在を知ったのは、ネットサーフィンでたまたま目にしたスローセックスに関するコラムでした。その内容を読んだ時、これまでの体験してきたセックスを通して感じていた、男性と女性の埋められない溝はこういうことだったんだと答えに辿りついた気持ちでした。

私は趣味でセラピストの勉強をしていて、気やエネルギーワークの学びを通じて、性と繋がる第2チャクラが活性化することで全身にエネルギーが漲ることは知っていたので、アダム先生の提唱されていることはすんなり納得がいくものでした。その後、オフィシャルサイトでスローセックスのモニターを募集されているのを知り、女性を心身ともに愛するべき存在として大切に扱っておられるアダム先生とのスローセックスがどんなものか、体験してみたいと思い勇気を出して応募しました。

私は遅めの初体験で25歳の時に13歳年上の男性と初めてセックスをしました。キスの後、あわただしい前戯と挿入で、何がなんだかかわからないうちに30分以内にすべてが終わったという感じでした。強い痛みはなかったものの感動もまったくなく、セックスってこんなものなのか、という程度の感想しか心に残りませんでした。その後、恋愛を通して数人の男性とのセックスを体験してきた中で、そこそこの快感は得られてセックスに対してマイナスのイメージはなかったのですが、私自身が本当に満ち足りた気

持ちになるまでに、既に男性の方が射精の我慢の限界に達して終わるということが多かったのも、終わった後にいつもなんとなく物足りなさを感じていました。これは男女差と個人差の問題で仕方のないことなのかなあと思いつつも、心のどこかでもっとお互いが深い快感を楽しめるセックスがあるんじゃないだろうかという気持ちを持っていました。

これまでセックスした男性のほとんどは、もっとどうしたら私を感じるのか聞いてくれる人ではあったのですが、自分がどうしてもらえば感じられるのかが自分でもよくわからないし、ましてや限界まで我慢している男性に対してもっと時間をかけて欲しいという勇氣はありませんでした。

モニター体験の当日、オフィスで女性スタッフの方が出迎えてくださり、カウンセリングルームでアダム先生が来られるのを待っていました。ノックのあと入ってこられたアダム先生は、長身で紳士的な雰囲気、にこやかな表情の優しそうな方でした。「ここまで来るのに勇氣がいったでしょう。場所はすぐにわかりましたか？」と内心緊張でいっぱいになっている私を気遣ってくださいました。とは言うものの「はじめまして…」と今ご挨拶したばかりの男性とこれから私はセックスをしようとしているというのが、どうにも頭の中でスムーズに繋がらず!?手にはいっぱい汗をかいていました(笑)。最初に、これまでのセックスの経験についてなどカウンセリングが始まり、両親との関係に複雑な事情を抱えていることに対しても時間をかけて話を聞いてくださいました。その後、ホテル近くまでタクシーで向かい、車を降りた後「ここからは恋人のような気持ちで」と私の手を取ってアダムウォークをしてくださいました。繋いでいるアダム先生の右手がとても暖かくて、それだけで優しさが伝わってきて、左手で仙骨(※腰にある性エネルギーのツボ)のあたり触れられていることもあり、安心感と高揚感が入り混じりなんとも言えない心地良さでした。

ホテルの部屋に入ってからお風呂にお湯が貯まるまで、お会いしたら直接聞いてみたいと思っていた男性心理について少しお話をお聞きしました。お風呂の準備ができて、アダム先生は「少ししたら入ってきてください」と言って、先に入られました。部屋に一人になり、とうとう今から裸にならなきゃいけないかと思うと、スタイルに自信もなくコンプレックスも言い出したらキリがないだけに緊張がピークに達してきました。そんな中、浴室からアダム先生の鼻歌が聞こえてきて、何だかもうどうでもよくなり(笑)、浴室のドアを開けました。アダム先生はニコニコ顔で「おいで~♪」と言いながら前に座らせてくださいました。

そして後ろから全身のアダムタッチが始まりました。初めて体験したアダムタッチは想像していた以上にソフトで触れるか触れないかぐらいの微妙な感覚で、敏感に感じるというより全身がリラックスしていくような心地良さでした。身体が重なった状態で、後ろからうなじや耳を唇で愛撫されるうちに気分が高揚してき

て、先生の手が胸に触れる頃には快感で意識がぼーっとしてきていました。先生は私の胸や乳首を愛撫しながら「いい形のおっぱいだねー。大きさも丁度いいね」と言ってくださり、その言葉に照れながらも嬉しく感じました。その後、足をバスタブの両脇に乗せられた状態で先生の手が太股から一番敏感なところへ上がってきて、そこに触れた瞬間に耳元で「もうこんなに濡れているよ」と囁かれ、エッチな気分が一気に加速しました。それから今度は向き合ってアダムタッチをしてもらいながら、いろいろなキスを楽しんでいる間に恍惚とした世界に入っていました。バスタブの中での愛撫はベッドとはまた違った開放感がありうっとりするくらい心地よいひとときでした。

ベッドに戻ると先生が優しい笑顔で待っていてくださいました。ベビーパウダーをつけてのアダムタッチを受けている間に、更に全身の感覚が敏感になっていくのを感じる中、時折入るスクラッチ（※軽く引っ搔く愛撫法）や、スイートバイト（※甘噛み）が心地よいスパイスとなって、その度ごとに抑えようのない快感に、喘ぎ声と共に身体が仰け反りました。以前から足の指の間や足の裏が感じやすいのは知っていたのですが、それ以上に足の甲をアダムタッチされたときに物凄く感じたのが今回意外な発見でした。

先生のキスは著書にも書かれていたように本当に繊細で、このままいつまでも楽しんでいたいという感じるほど恍惚感を覚えました。いままで私自身の勘違いもあり、キスはすぐにディープキスになることが多かったのですが、その中で一人だけアダム先生様のようにお互いの接近感を感じながら唇がそっと触れるぐらいの軽いキスをした男性がいて、それっきりそれ以上の関係には発展しなかったのにも関わらずいつまでもその余韻が続いたことがあったのを思い出しました。快感は肉体で感じるのではなく脳で感じるのだから、キスも交接も激しくすればより感じるというものではないのだと改めて感じました。

胸と乳首へのタッチもこれまで体験したことがない本当に優しいものなのに、今までにはないくらい敏感に感じました。胸と脇の中間あたりをトントンと軽く叩かれて、最初は？！って思ったのですが、そのうちにとても気持ちよくなってきたのには驚きました。

先生のアダムタッチの手がだんだん下に降りていって、お尻をさわりながら「おいしそうなお尻！ 食べちゃいたい」と言って、いきなりカプっと噛まれてたときは一瞬ビクッとしたけれど、自分が赤ちゃんになったみたいで無邪気な気持ちになれて楽しくなってきました。言葉や行為をフルに使って、エロティックな感じや幼児みたいにはしゃぐ感じなど、いろいろな立場を変えて楽しんだら、更に開放感が味わえてセックスがもっと楽しくなるかも！と思いました。

その後、先生の手がお尻からアナルに移動していったのは覚えているのですが、その先が恥ずかしさも手伝ってかままったく記憶にありません。私はそれほどまでに感じてい

たのでしょうか?! 今までのセックスではアナルで感じることはなくて、というより触られていること自体が嫌だったのですが、先生のタッチがあまりにも自然で何の違和感もなかったように思います。

そのままクリトリスに移りクンニをしてくださいました。先生の繊細な舌使いでピンピンに感じ過ぎて仰け反りそうな状態なのに、先生が両腿をしっかり押さえておられるので動くこともできず、拘束感と快感で気がどうにかなりそうでした。

先生の指が膣に入ってきたときにはもう意識が朦朧としていて、「ここがGスポット…」と言ってくださった所までは覚えているんですが、その先の記憶がまったくありません（笑）。きっと続きにTスポットも説明して下さってたんですね。お風呂での愛戯に始まって、すでにここまでの時点で元々感じやすい私の身体は記憶が曖昧なぐらい官能の世界に入っていました。

雲の上にいるようなフワフワした意識の中、今度は私が先生を愛撫させてもらう番になりました。今回のモニター体験で私も先生の身体を積極的に愛撫してみたいと思い、一応本で予習をしていたのですが、いざとなったらそんなものはすっかりどこかへ飛んでしまっていて頭の中は真っ白でした。そんな中、先生のペニスが心から愛しく感じたのでフェラチオから始めました。私が唇と舌で愛撫する度に先生の身体がビクンと動いて、ペニスだけ別の生き物のように動いて可愛いと思いました。先生のペニスが大きく逞しく状態になっているのを見て、うっとりした気持ちで交接への期待感が膨らんできました。私をこれほど気持ち良く感じさせてもらっているのだから、私も先生に同じようにしたいと思ったのですが、もう何をどうしていいかわからない状態だったので私が愛撫したいと思う場所をキスしたりして愛撫させてもらいました。先生の唇にキスをする度に先生の身体がビクンと反応するので本当にこのまま続けていて大丈夫なのかなと心配になりましたが、先生にそれを聞くと「私の気に感応しているからだろう」とのことでした。

先生が「こっちにお尻を向けて」と言われたので、とっても恥ずかしかったのですが、シックスナインをしました。でも先生のクンニが気持ちよすぎてフェラチオどころではありませんでした。続いて「顔の上においで」という声のまま先生のお顔の上に跨った状態でクンニしてもらいました。先生には言ってなかったのですが、私はこのスタイルのクンニが一番感じるのととても嬉しかったです。先生の言葉攻めも手伝って自分がいたいどんな声を出していたかさ覚えていないくらい快感を貪っていました。

そしていよいよ先生の立派なペニスが私の中に入ってきました。もう充分というぐらい感じ過ぎて凄く濡れた状態なのに、ゆっくりとしか奥に進めないほど膣の中がキツイ状態に自分でも驚きました。先生は挿入できた時点で動かずにしばらくじっとして下さっていて、それがまた先生と一つになっていく瞬間を味わう感覚ですごく感じました。本当に女性として大切に愛しく扱ってもらっている感じがして、これまでのセックスに

はない上質感を感じました。

対面上体立位で先生が腰を動かし始め、ピストン運動が始まった瞬間に子宮の入り口に電気が走るほどの刺激を感じました。動かして欲しいという気持ちがあるのにペニスが奥深く入ってくると気を失いそうなぐらいの衝撃が走るのです。これまでにない自分の状態に「どうしよう…この先へ進めるのだろうか」という気持ちになりました。先生に「感じ過ぎてダメですぅ～」と言ったら、「まだ始まったばかりだよー」と言われ、確かに始まったばかりなので本当にどうしようと思いました。全身をつき抜けるような衝撃にこの先どうなるのか不安を感じながら座位に移りました。座って向き合っている状態はとても親近感と幸福感がありました。今まで座位の経験なく、どうやって腰を動かしていいかわからなかったのですが、先生が手を添えて動かしてくださいました。なかなか上手には動けませんでした。このスタイルは見つめ合いながら交接ができるのでとても気に入りました。

騎乗位に移り、先生は「自分で動いてごらん」と言ってくださったのですが、以前から私は騎乗位でどう腰を動かせばリズムカルに動けるのかわからず、先生に教わりながらやってみました。騎乗位自体は嫌いではないのですが、腰の動かし方については難しくて私にはまだまだ練習が必要という感じです。バックの挿入でも、とにかく膣内が敏感になり過ぎて快感を超えて、ペニスが深く入る度にピリピリする感じでした。それからいくつか体位を変えたのですが同じような状態で身体の力は抜けきって、されるがままでしかいられない状態でした。「先生、私もう死にそう。最後まで到達できないかもしれないですぅ～」と言ってしまったくらいです（笑）。今回ベッドの上でペニスを抜かない状態で体位を変化させていくのを初めて経験してみて、一体感が途切れないのがとても良いと感じました。

その後、洗面台に座って挿入したり、交接する横からの姿を鏡に映した状態で挿入を楽しみ、視覚的にとても興奮しました。鏡に映る雄雄しくバックから攻める先生の姿と爪先立ちの状態。快感に喘ぐ自分の姿を見て、恥ずかしさと嬉しいが入り混じった気持ちでした。バックで攻めながら耳元囁く先生の言葉攻めにも興奮してエッチな気分のボルテージが一気に上がり獣のような意識になっているのを感じました。

ベッドに戻り、先生が「もうイッてもいい？」と聞いてくださったのですが、もうフラフラの状態。言葉を返せたのかどうかもよく覚えていません。

正常位で抱き合いながら先生の力強いピストン運動が始まりました。ペニスが奥深く入ってくるたびに性エネルギーが私の身体に入ってくるのを感じ全身が熱くなってきて、今までに感じたことのない快感に、お腹の底から喘ぎ声をあげている自分がいました。そして先生の惚れ惚れするような雄叫びとともにフィニッシュに至りました。一つになって全て出しを尽くした後は、清々しさのようなものを感じました。

先生に腕枕をしていただき少しの間眠りました。先生の寝息を聞きながら、眠るとい

うより空（くう）の世界に漂っている心地よい感覚が続き、とても満ち足りた気持ちでした。薄れゆく意識の中「こんなセックスが日常的にできたら、心身ともに癒され内側から元気になり、男性も女性も生き生きとした人生が送れるんだろなあ」と感じました。

今回スローセックスを体験してみて一番印象的だったのは、アダム先生の女性に対する気遣いと優しさでした。セックスの時、女性は男性に大切に扱われていると感じるだけで、その嬉しさと先への期待感に高揚し身体が内側から開いていきます。それは男性にとっても嬉しいことだと思います。世の中の男性がアダムタッチに始まるスローセックスを実践できるようになれば、幸せなカップルが増えて、今日という日を生かされている喜びを心の底から実感できる人がどれほど増えるだろうと感じました。

スローセックスとジャンクセックス……。同じセックスというカテゴリでありながら、かたや官能の海に身を委ねながら二人で様々な快感を貪り合う世界、かたや限りなく排泄行為に近いもので、まったく別物だと感じました。

ひとときの眠りから目覚め、シャワーの後身支度をしている間、気が勢いよく全身を駆け巡っていて、温泉から上がった後のように身体がぼかぼかして汗ばむくらいの状態でした。

ホテルを出てからもお話をしながらアダムウォークで駅までの道を送ってくださいました。切符を買う間も待っていてくださり、お別れの前にハグしながら優しくキスして見送ってくださいました。オフィスで初めてお会いしてから、お別れする瞬間まで紳士的で本当の意味で大人の男性の優しさと思い遣りに溢れた方だと感じました。

今回のモニター体験では、私が元々かなり感じやすい身体であるということと、エネルギーワークで既に気の回路が開いていることもあり、アダム先生のペニスからの性エネルギーに子宮の奥が感応して、強い刺激に感じてしまい、残念ながら快感をゆったり味わう余裕はありませんでした。

改めて過去のセックスを振り返り、どんなことでゆったりとした快感を感じられたのか振りかえってみて思い出したことがありました。以前、指や舌でのクリトリスへの愛撫、そして交接してからのピストン運動をかなりゆっくりした動きでしてもらったときに、ずっと止めないでほしいというぐらい昇りつめていく快感が続いたことがあったのです。その辺りの調整がうまくいけば、スローセックスを十分に楽しめるような予感がしています。